

# 写真展「リメンバー<sup>おおつち</sup>大槌」

震災を風化させるな。  
大槌町民が撮った「あの時」の写真が語る。

入場無料



平成 25 年

6月1日(土) - 6月26日(水)

開館時間 9:00 - 19:00

休館日 6月3、10、17、24日

会場 三重県立図書館 文学コーナー(2階)

お問合せ TEL 059-233-1181 (三重県立図書館)

主催 三重県立図書館

共催 大槌町、ふるさと大槌会

オープニングイベント

対談「逆境から発想する町」

6月1日(土) 10:30-12:00

碓川豊氏(大槌町長)

林春男氏(京都大学防災研究所教授)

三重県立図書館 文学コーナー(2階)

入場無料 申込先着100名様

# 写真展「リメンバー大槌」<sup>おおつち</sup>

三重県内の図書館では、東日本大震災以降、「東北を知ろう、東北へ行こう！」キャンペーン、松原豊氏の写真展「大槌町／2011夏・2012冬」などにより、被災地を中心とした東北地方の情報を提供してきました。震災から2年が過ぎ、依然として多くの課題が残されていますが、一方で時間の経過とともに震災に対する危機意識の風化がはじまっています。

このたび、三重県立図書館では、震災発生直後に岩手県大槌町で撮影された「あの瞬間」の写真を中心とする写真展「リメンバー大槌」を開催します。この写真展は、大槌町で起きた震災を忘れないでほしいという思いから、東京の大槌町出身者の会である「ふるさと大槌会」により企画されたものです。

近い将来、南海トラフ地震の発生が現実視されている三重県にとって、大槌町での出来事は決して他人事ではありません。この展示を通じて、被災地の現在について改めて関心を寄せていただくとともに、明日の我が身である本県の防災減災について考える機会になればと思います。



## 『希望の大槌 逆境から発想する町』

碓川豊著 (明石書店刊)

東日本大震災で筆舌に尽くしがたい痛みを負った岩手県大槌町。震災後に就任した町長は、日本が抱える多くの課題を体現する東北の小さな町を「世界に誇れる町」にすべく、多彩なアイデアで住民と共に新たなまちづくりに挑戦していく。

### オープニングイベント

## 対談「逆境から発想する町」

大槌町の碓川豊町長と、日本の防災研究の第一人者である京都大学防災研究所の林春男教授をお迎えして対談を開催します。

6月1日(土) 10:30-12:00

三重県立図書館 文学コーナー(2階)

入場無料 申込先着100名様



碓川豊 いかりがわ ゆたか

1951年生まれ。岩手県大槌町長。1969年大槌町役場に入庁。水産商工課長、総務課長等を経て、2010年退職。東日本大震災後の2011年8月に行われた町長選で初当選、現在にいたる。町の復興への取り組みや、自らの思いを綴った初めての著書「希望の大槌」を3月に出版した。



林春男 はやし はるお

1951年生まれ。京都大学防災研究所巨大災害研究センター長。災害発生時の人間行動学から復旧・復興のあり方まで、幅広い視野で災害を見つめる。阪神・淡路大震災、東日本大震災等の復興計画に携わっている。著書に「災害のあと始末」、「組織の危機管理入門」など多数。

## お申し込み

対談に入場をご希望の方は、下記の方法でお申し込みください。先着100名様をご招待します。

お申し込みの際には、入場を希望される方のお名前、電話番号をお知らせください。

なお、お申し込みが定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申込先(件名): 三重県立図書館「対談」係

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ホームページの対談申込フォーム

電 話 059-233-1181

F A X 059-233-1191

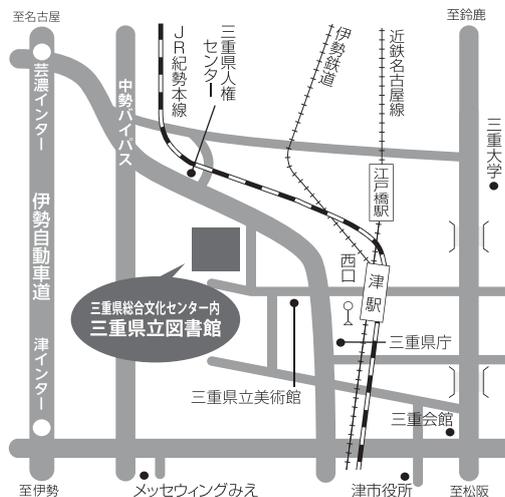
Eメール mie-lib@library.pref.mie.jp

窓 口 三重県立図書館カウンター

\*ご記入いただいた個人情報は、今回の目的以外には使用いたしません。



☎ 携帯電話からもお申し込みいただけます



## 交通のご案内

三重県総合文化センター 〒514-0061 津市一身田上津部田 1234

- 鉄 道 / 近鉄・JR 津駅下車
- バ ス / 津駅西口から約5分
- 徒 歩 / 津駅西口から約20分
- タクシー / 津駅西口から約5分
- 自家用車 / 伊勢自動車道津インターから約15分、芸濃インターから約15分